記者発表

平成２６年　８月１１日
国　土　交　通　省
山形河川国道事務所

河川での事故・事件に関して警察・消防機関と連携強化！！
～速やかな対応に向けて～

近年、局所的な集中豪雨が増えており、河川水位の急激な上昇などによる水難事故が毎年のように発生している状況です。

これから、お盆休みで河川の利用も増加する時期となりますが、万が一の事故や事件の発生（発見）した際、河川堤防に設置されている河川距離標を目安とし活用することより速やかな場所の特定が図られるよう、警察や消防関係部局と連携し体制を整えていますのでお知らせします。



河川距離標とは？

最上川においては、左右岸の堤防上に約２００ｍ毎に設置されており、河川を維持管理する際の位置確認のために役立てています。

写真中の１９６ｋｍは河口からの距離を意味しています。

通報例

最上川で怪我をしてしまった！

場所は、最上川の左岸で近くに１９６ｋｍの表示（距離標）があります！

当事務所においては、地域の要望に配慮した親水空間の整備に努めておりますが、河川の利用にあたっては、安全に十分配慮されるようお願いします。

また、水質事故（油の流出など）、野火発生、不法投棄などを発見された場合は、下記まで速やかに連絡をお願いします。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

国土交通省

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目３－５５（TEL 023-688-8942）
副所長（河川担当）　木村　伸一（内線２０４）
河川管理課長　鈴木　浩（内線３３１）



〈拡大〉



河川距離標とは？
河口から約200m毎に左右岸の堤防上に設置されているものです。
写真の例ですと、最上川の河口部から196kmの場所となります。

右岸・左岸とは？
川は、上流から下流に向かって流れております。
右岸：川が流れる方向を向いて右側が右岸です。
左岸：川が流れる方向を向いて左側が左岸です。

その他の現在地確認の目安としては、橋や堤防上に設置されている樋門樋管等があります。

通報の例）
〇〇川で怪我をしてしまった！場所は、〇〇川左岸で近くに「196km」の表示があります。
〇〇川で火災が発生している!場所は、〇〇川左岸で〇〇橋の下流（上流）側です。